

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第38期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社アスモ （旧会社名 シンワオックス株式会社）
【英訳名】	ASMO CORPORATION （旧英訳名 SHINWA・OX CORPORATION）
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋本 幸延
【本店の所在の場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	管理本部本部長 兼 経営企画室室長 岡田 秀樹
【最寄りの連絡場所】	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号
【電話番号】	大阪06（6683）3101
【事務連絡者氏名】	管理本部本部長 兼 経営企画室室長 岡田 秀樹
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

（注）平成24年6月26日開催の第37回定時株主総会の決議により、平成24年7月1日から会社名を上記のとおり変更いたしました。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第1四半期連結 累計期間	第38期 第1四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	1,825,786	2,194,009	7,891,444
経常利益(千円)	141,251	180,042	762,874
四半期(当期)純利益(千円)	146,341	157,995	954,073
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	131,691	156,433	982,327
純資産額(千円)	578,786	1,585,855	1,429,421
総資産額(千円)	2,236,772	3,042,149	2,957,550
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	1.04	1.13	6.80
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	22.9	48.6	44.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とする回復の動きが見られたものの、欧州債務問題の再燃による世界的な金融不安の拡大に加え、円高水準の定着や電力供給問題など多くの懸念材料により、先行きはいまだ不透明で予断を許さない状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、給食事業を収益の柱として一層の向上を図るとともに、卸売事業、介護事業、外食事業についても安定的な収益の確保に向け取り組んでおります。

また、平成24年7月2日付けで、当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、今後の成長が見込める在宅介護の分野に進出し、訪問介護事業所の展開を行ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,194百万円（前年同四半期比 20.2%増）、営業利益188百万円（前年同四半期比 20.2%増）、経常利益180百万円（前年同四半期 27.5%増）となり、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、157百万円（前年同四半期 8.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### 卸売事業

卸売事業におきましては、東日本大震災及び焼肉店における集団食中毒事件から1年が経過し、徐々に回復傾向にありますが、需要の冷え込みが未だ続いております。牛肉に関しましては、メキシコ産を筆頭に直輸入商品を安定供給し、販売先の信頼を得ることができたため、取引が長期的に行えるようになりましたが、ユッケ、生レバーの提供禁止以来、焼肉店の販売不振から牛内臓肉の販売が落ち込み、値下げ販売を余儀なくされました。しかしながら、輸入豚肉の通関に関して、審査が厳重化されたことにより、競業他社が在庫を確保しようとしたため、価格が上昇し、結果、売上及び利益に寄与いたしました。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、440百万円（前年同四半期比 62.4%増）、営業利益は、20百万円（前年同四半期比 156.6%増）となりました。

#### 外食事業

外食事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、香港にて日本食の外食店舗を運営しており、既存店舗の強化（改装、メニュー変更等）に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、309百万円（前年同四半期比 20.2%増）となり、営業利益は、19百万円（前年同四半期は、12百万円の営業損失）と堅調に推移いたしました。

#### 給食事業

給食事業におきましては、高齢者介護施設給食受託の順調な増加が安定的な収益確保に寄与しております。また、公共施設の給食等受託に向けた取り組みで、長期的な成長に向け新たな基盤の開発・強化に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,382百万円（前年同四半期比 13.5%増）、営業利益は、178百万円（前年同四半期比 5.1%減）となりました。

#### 介護事業

介護事業におきましては、株式会社ベストライフの開設した高齢者介護施設の入居斡旋業務を行っております。当第1四半期連結累計期間については、前期に開設した高齢者介護施設の前第4四半期中の前倒し需要の影響及び入居斡旋対象施設の増加に伴う営業力の分散により効率的な入居斡旋ができませんでした。今後においては、効率的な営業に努めてまいります。結果、売上高は、62百万円（前年同四半期比 22.1%減）、営業利益は、43百万円（前年同四半期比 29.6%減）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期累計期間において、セグメントごとの仕入、販売実績が次のとおり著しく変動いたしました。

仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同期比(%)
卸売事業 (千円)	432,613	149.0
外食事業 (千円)	101,491	85.1
給食事業 (千円)	492,748	117.1
介護事業 (千円)	-	-
合計 (千円)	1,026,853	123.7

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同期比(%)
卸売事業 (千円)	440,216	162.4
外食事業 (千円)	309,613	120.2
給食事業 (千円)	1,382,169	113.5
介護事業 (千円)	62,010	77.9
合計 (千円)	2,194,009	120.2

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	600,000,000
計	600,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	151,451,750	151,451,750	㈱大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	151,451,750	151,451,750	-	-

(注) 1. 「提出日現在発行数」欄には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使(旧 商法に基づき発行された新株引受権(ストックオプション)の権利行使を含む。)により発行された株式数は含まれておりません。

2. 発行済株式数のうち4,610千株は、現物出資(貸付金債権299,650千円)によるものであります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日	-	151,451	-	2,323,272	-	2,336,010

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,242,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 140,200,000	140,200	-
単元未満株式	普通株式 9,750	-	-
発行済株式総数	151,451,750	-	-
総株主の議決権	-	140,200	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
シンワオックス㈱	大阪市住之江区北加賀屋五丁目7番30号	11,242,000	-	11,242,000	7.42
計	-	11,242,000	-	11,242,000	7.42

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、宙有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	666,265	702,605
受取手形及び売掛金	843,451	832,175
商品	160,289	214,746
貯蔵品	12,089	12,776
その他	277,899	263,818
貸倒引当金	471	470
流動資産合計	1,959,522	2,025,651
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	515,283	543,835
有形固定資産合計	515,283	543,835
無形固定資産		
のれん	408,143	400,732
その他	2,229	2,171
無形固定資産合計	410,372	402,904
投資その他の資産		
その他	409,663	404,473
貸倒引当金	337,291	334,714
投資その他の資産合計	72,371	69,758
固定資産合計	998,027	1,016,497
資産合計	2,957,550	3,042,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	316,493	325,106
短期借入金	626,208	536,208
未払金	325,143	336,677
未払法人税等	24,013	21,466
賞与引当金	36,963	24,820
返品調整引当金	10,193	7,227
その他	153,894	179,996
流動負債合計	1,492,910	1,431,503
固定負債		
長期借入金	12,110	10,682
その他	23,107	14,107
固定負債合計	35,218	24,789
負債合計	1,528,128	1,456,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	3,368,825	3,210,829
自己株式	42,303	42,303
株主資本合計	1,286,488	1,444,484
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,577	33,810
その他の包括利益累計額合計	37,577	33,810
少数株主持分	105,356	107,561
純資産合計	1,429,421	1,585,855
負債純資産合計	2,957,550	3,042,149

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,825,786	2,194,009
売上原価	1,246,675	1,561,530
売上総利益	579,111	632,478
返品調整引当金戻入額	4,244	10,193
返品調整引当金繰入額	5,269	7,227
差引売上総利益	578,086	635,444
販売費及び一般管理費	421,079	446,764
営業利益	157,007	188,679
営業外収益		
受取利息	43	25
貸倒引当金戻入額	-	677
その他	479	1,225
営業外収益合計	522	1,928
営業外費用		
支払利息	5,378	3,119
為替差損	2,430	4,607
その他	8,469	2,838
営業外費用合計	16,278	10,565
経常利益	141,251	180,042
特別損失		
固定資産売却損	-	36
特別損失合計	-	36
税金等調整前四半期純利益	141,251	180,005
法人税、住民税及び事業税	3,424	16,186
法人税等合計	3,424	16,186
少数株主損益調整前四半期純利益	137,827	163,819
少数株主利益又は少数株主損失( )	8,513	5,823
四半期純利益	146,341	157,995

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,827	163,819
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,135	7,385
その他の包括利益合計	6,135	7,385
四半期包括利益	131,691	156,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,211	154,229
少数株主に係る四半期包括利益	11,520	2,204

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
従業員(1名)	168千円	141千円
堂島ホテル株	376,589	320,985
計	376,758	321,126

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	12,622千円	13,402千円
のれんの償却額	7,410	7,410

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項  
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項  
該当事項はありません。
2. 株主資本の金額の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	-	1,825,786
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	271,042	257,635	1,217,488	79,620	1,825,786	-	1,825,786
セグメント利益又は損失( )	8,053	12,164	188,027	62,394	246,311	89,303	157,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	246,311
セグメント間取引消去	779
のれんの償却額	6,090
全社費用(注)	83,993
四半期連結損益計算書の営業利益	157,007

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	-	2,194,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	440,216	309,613	1,382,169	62,010	2,194,009	-	2,194,009
セグメント利益	20,666	19,208	178,520	43,939	262,335	73,656	188,679

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,335
のれんの償却額	6,090
全社費用(注)	67,566
四半期連結損益計算書の営業利益	188,679

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	1円 4銭	1円 13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	146,341	157,995
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	146,341	157,995
普通株式の期中平均株式数(千株)	140,209	140,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社アスモ  
取締役会 御中

### 宙有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 荒木 康弘 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡本 雅秀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスモ（旧会社名シンワオックス株式会社）の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスモ（旧会社名シンワオックス株式会社）及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- （注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。